Q&A 2022年 大河ドラマを活かした観光活性化への取り組みについて

柴田三敏

問 持続的な観光需要を創出するため放映前、放映中、放映後にどのような取り組みが必要と考えるか。

答 大河ドラマ放映による観光需要や交流人口の増加は一過性で終わることなく、持続性がなければならない。

具体的な取り組みは、観光協会や旅館組合をはじめ関係機関と連携を図りながら、効果的な事業展開ができるよう検討を重ねていきたい。

問 大河ドラマにより伊豆の国市の観光イメージとして新たに「鎌倉時代」「北条家」という要素が加わる。今後どのようなイメージ戦略を講じていくか。

答 放映により、北条義時公は脚光を浴び、本市にゆかりのある北条氏、源氏も含め、その知名度は全国的なものとなる。

この知名度を活かし、地域・民間・行政が連携して「北条義時公生誕の地」というイメージを新たに付加することは、重層的な歴史遺産を有する本市にとって有効な手段であると考える。

問 周遊ルートの設定、歩行環境の整備、交通手段の確保については。

答 北条義時公にゆかりのある施設を結ぶため、観光案内板の更新を行い、ゆかりのある施設への看板の設置、「歴バスのるーら」のルート変更も視野に入れ、伊豆長岡温泉への宿泊客の移動も含めて検討していく。

問 放映後、報道は一気に少なくなると思うが、この対策については。

答 確かに、報道は減少するが、放映後につながる取り組みを行うことにより、新たなコンテンツや商品が脚光を浴び、これらが報道される機会は増えるのではと考えている。

大河ドラマ館設置場所について

問 韮山時代劇場が望ましいと確認されたが、経済効果の観点から、アクス・反射炉付近・パノラマパーク施設借用など再検討してはどうか。

答 限られた予算の中で費用対効果を上げる検討を尽くした結論。韮山時代劇場を中心に、ぶれないでいきたい。

韮山時代劇場・アクス
反射炉・パノラマパーク

Q&A 大河ドラマを活用した地域振興について

笹原恵子

問 韮山時代劇場は年間6万4200人以上も市民等が使用している。1年半も休館することの影響については。

答 多くの方が利用していることや貸館機能を中止するために不便をかけることは認識しているが、仮設は費用が掛かるので既設施設を使わざるを得ない。相対的に考え利用する方々と協議調整をしていく。

問 大河ドラマ館は市民参加型、観光客体験型にすることが望ましいと思うが、他の事業と地域振興にどのように結びつけるのか。

答 観光、商工、学びなど、一過性のものでなく、放送後にも続く振興策にしていく。また、ドラマ館エリアに、市民と共同で花とみどりにあふれる美しい街づくりを推進していく。

公立保育園・幼稚園のこれからについて

問 市内保育認定園児数は増加しているが、教育認定園児数は減少している。また、公立5幼稚園の入所児童数の減少が続いているが幼稚園の統廃合についての今後の市の方針は。

答 適正規模の集団教育を受けることを配慮し、旧町単位（韮山・長岡・大仁）に1園とし、5園を3園に統廃合することを考えている。韮山地区は富士美幼稚園に、長岡地区は長岡幼稚園に、大仁地区は田京幼稚園に、それぞれ一本化したいと思っている。

問 他の幼稚園等の統廃合の予定は。

答 田京幼稚園に統合した後ののぞみ幼稚園にひまわり保育園を移転する、富士美幼稚園に統合した後の共和幼稚園に、あゆみ保育園の分園を新設するなどの案がある。

問 長岡保育園は築35年であり、土砂災害特別警戒区域に指定されている。対策が急がれるが。

答 同地区にある長岡幼稚園と併設、改修することについて、こども園化も含め必要な調査をしていく。保育士と教員への研修や、保護者への聞き取りなどの必要があると考えている。

現在の長岡保育園

【一般質問】

公共施設の統廃合 大仁東体育館、野外活動センターの改修目的と内容は

Q&A

内田隆久

問 大仁東体育館と野外活動センター合わせて6億3千万円の事業費が想定されているが、5年でどう進めるか。

答 当初、野外活動センターは、宿泊施設での改修等も考えていたが、倉庫で使用することになった。

問 両施設とも持ち出しになっているから民間委託して何とかしようと考えているのか。

答 マイナスを解消していく手立てがないので、今後考えていきたい。

問 廃校を民間活用した成功事例は千葉県鋸南町のように、たくさんあるが。

答 民間委託について検討を続ける。

合併特例債の財源の裏付けがあった広瀬公園プールの今後の改修計画は

問 「早期に廃止でなく、安全に支障のない範囲で速やかに改修する。」ということでよいか。

答 言われた通り、安全に支障のない範囲で改修して、今後も運営していきたいと考えている。

問 来年の夏には、広瀬プールが使用できるようになるということでよいか。

答 コロナ対策を考えて運営していく。

改修して令和3年の夏、再開される広瀬公園プール

人口減少対策としての学園都市構想

問 12月1日に突然、学園都市構想で韮山時代劇場に大学を誘致する話がでた。市民とコンセンサスを取りながらやっていくのが一般的なやり方だと思う。韮山時代劇場、アクシスとの統合についてカルテを上げて検討をしているようだが、大学を誘致するなら公共施設再配置計画の大幅な方針変更ではないのか。

答 学園都市構想は市長の夢の中で出てくる話で時代劇場にという話では全くない。大きな転換の話は知らない。

問 私は、直接、市長から聞いた。

答 韮山時代劇場周辺、韮山駅周辺という夢は数年前から私は持っていた。韮山時代劇場でやるというそこまでの話は行っていない。相手があることです。

ハザードマップの見直しについて

Q&A

二藤武司

問 ハザードマップの見直しで、想定最大浸水区域の水深と公共交通の浸水想定は。

答 現在策定中のハザードマップは、水防法の改正による想定最大規模で市内の平地部のほとんどが浸水区域となるとシミュレーションされており、全ての公共交通でも浸水区域となる。

伊豆箱根鉄道沿線は0・2㍍から4㍍、国道136号沿いは3㍍から5㍍、国道414号沿いは1・5㍍から6㍍と想定されている。

問 浸水区域内にある指定避難所の指定見直しは。

答 策定により、浸水深は増すこととなるが、現時点においては指定避難所の新たな計画や見直しはない。そこで、2階以上の施設や校舎を利用し、垂直避難ができるよう新たな取組みを実施している。

問 立地適正化計画居住誘導区域の浸水想定状況と、その計画との整合性については。

答 立地適正化計画で定めた居住誘導区域は、そのほとんどが浸水区域内となっている。これは、狩野川が中央に流れる田方平野に発展してきた本市では、平野部の多くが浸水想定区域であるため。

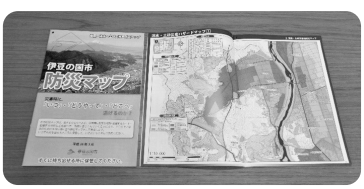
現在、国・県・市が連携して、内水氾濫被害を軽減するための狩野川流域治水プロジェクトによるアクションプランの策定も進めることになっている。

今後、防災まちづくりのガイドラインや流域治水を強化する方針が示されることから、これらを基に、都市計画マスタープランや立地適正化計画の見直しを検討していく。

問 居住誘導区域の設定の基準は。

答 立地適正化計画における居住誘導区域の設定基準は、都市再生特別措置法の中では、まず市街化区域内に定めることになり、土砂災害特別警戒区域や地滑りの防止区域・急傾斜地崩壊危険区域は除くことになっている。

区域の設定手順として、1つ目が生活利便性を確保されている区域であること、2つ目が生活サービス機能の持続的確保が可能な範囲内の区域であること、3つ目は災害に対する安全性の確保を図る区域であることとなっている。



伊豆の国市防災マップ

Q&A 韮山時代劇場の貸出しは市民の文化活動を優先すべきでは

高橋隆子

問 市民の生涯学習や地域コミュニティの拠点である韮山時代劇場が大河ドラマ館になると1年半も借りられなくなる。市民への説明と合意は。

答 大河ドラマ推進協議会の承認を得た。利用者の話を伺うとまとまりのつくものではなくなる。利用者には代替施設を提案し歩み寄っていきたい。

問 一過性の番組宣伝のためのドラマ館に数億円もかけずに、歴史資料館をつくる等、歴史のまちづくりを目指すことが郷土愛につながるのでは。

答 経費的、時間的余裕がない。

問 コロナ禍にこそ、市民の芸術文化活動や外出支援が必要では。

答 ドラマ館に協力してもらい、違う世界を見ることもよいのではないか。

子ども・若者に関わる新型ウイルス対応について

問 運動会、修学旅行、行事等が各学校単位で違うが、共通認識は。

答 国のマニュアルに沿っている。市で統一せず、各学校長の判断に委ねる。

問 成人式は密をさけ地区別開催は。

答 新成人の実行委員会で例年通り一か所で式典の後、三か所に分散開催することに決めた。入場制限等の対策。

問 放課後児童教室が過密。会計年度任用職員の負担も大きいのでは。

答 今後、教室の定員数や職員配置も検討しなくてはならないが、現状は教育委員会や教職員が見守りをしている。

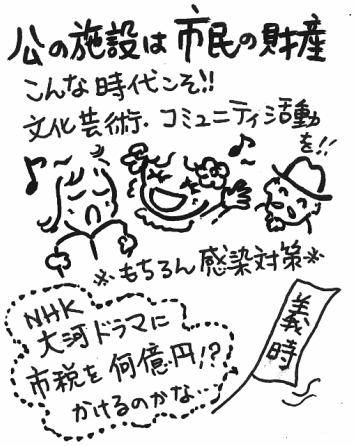
脱炭素社会にむけた施策と森林保全(ナラ枯れ)対策について

問 酸性雨による立ち枯れや、病原菌によるナラ枯れ対策に森林譲与税を。

答 可能だが本市では制度がまだない。

問 国会で気候非常事態宣言を決議し、脱炭素社会実現を宣言した。日本の総人口の半分以上がゼロカーボンシティ宣言をしている。本市も年内に宣言を。

答 準備が整い次第宣言する。



Q&A 市の花あやめを市民と協働で育成する考えについて

小澤五月江

問 全国市町村あやめサミットの加盟市町との交流は。

答 年一回、加盟している12市町の首長による、お国自慢観光宣伝など交流事業が行われている。又、災害時の物資提供などの相互応援や支援も行う細則を想定している。

問 市の花あやめがまちに見かけない理由は。

答 以前は城池公園内に植栽していましたが、あやめの花にとっては土地が適していなかった、イノシシの被害、2年から3年の株分けの手間や環境など育成があまりにも困難であったため途絶えてしまった。

問 今後市民と協働であやめ園を造成し、整備していく考えは。

答 あやめ園の整備についてもこれまでの取り組結果を踏まえ、あやめの植栽に適した土地の選定、育成方法について調査研究から始めたいと思っている。

問 調査研究の具体的な考えは。

答 この事業を進めていく上で、技術を持っている方々を少し募り、市民の方々と一緒に取り組まなければ市だけではできない。市民の方々と市の花あやめを育てていきたいと思っている。

問 あやめの花を一家一株育成する考えは。

答 花咲く伊豆の国推進協議会において一家一花を今年度は花の品種をマーガレットに統一し、1147株のマーガレットを育てている。今後は市の花あやめも普及に努めていく。

問 普及していく方向性と農土香を使用する考えは。

答 花咲く伊豆の国協議会の方々と相談をする中で、知見をお持ちの方と協力をいただき、いい方向を見出せれば良いと考える。農土香は公共花壇に使用している。

市の花あやめ